



平成31年度 令和元年度

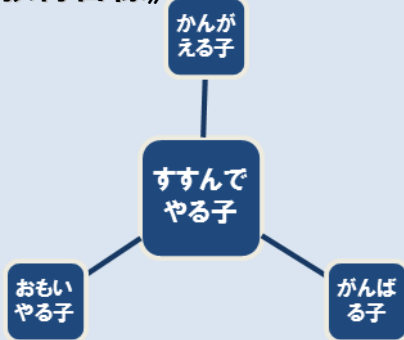
東村山市立 富士見小学校

校章の由来

富士見小の頭文字を円満な人格形成をめざして丸い文字で表し、中央に配置しました。まわりには武蔵野の自然に息づく豊かな環境としてくぬぎの6枚の葉を配し、本校の教育目標と、子供・学校・地域を表しました。6枚の葉にこめられた理想をかかげ未来に大きく飛び立てほしいという願いをこめたものです。



《教育目標》



すすんでやる子

価値あることを自ら選択し、意欲的に進んで取り組む子供

かんがえる子

しっかり話を聞き、深く考えて、正しく判断する子供

おもいやる子

相手の立場を考え、心を通わせ、互いに支えあう子供

がんばる子

目標をもち、真剣に取り組み、最後までやり通す子供

教育目標を達成するための基本方針と指導の重点

- 「ファイト＆フレンドリー 自分を高めて みんなで伸びよう」をキャッチフレーズとし、自律と共生の基本方針のもと教育活動を推進する。
- 「わかる」「できる」「楽しい」授業の実践を通して、児童一人一人に基礎的・基本的な知識・技能の習得と確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。
- 基礎学力の定着を目指して「ぐんぐんタイム」「放課後学習」に取り組む。
- 人権尊重の精神を基盤とし、人間性豊かな児童を育成する。そのため「いのちと心の教育」を推進し、自然体験や人とのかかわりを通して、自他を慈しみ、生命を大切にする豊かな心を育てていく。
- 安全教育・防災教育を充実させ、児童自らが危険を予測し、回避する能力や他者や地域社会の安全に役立つとする能力を育て、安全・安心な学校づくりを推進する。
- 「キャリア教育」の推進により、自尊感情を高めて夢やあこがれの気持ちをもたせる。
- オリンピック・パラリンピック教育や体育健康に関する指導、食に関する指導、一校一取組運動を充実させ、健康安全の保持増進、体力の向上を図る。
- 地域との連携を深め「地域は教材、地域は教室、地域は先生」をめざす。

住所：〒189-0024 東京都東村山市富士見町 5-4-57

電話：042-391-8194 FAX：042-397-5414

<http://higashimurayama.ed.jp/e15-fujimi/>

ファイト&フレンドリー 自分を高めて みんなで伸びよう

確かな学力の育成



よくわかる楽しい授業

- 主体的・対話的で深い学びの授業により、児童一人一人の思考力・判断力・表現力を育てる。
- プログラミング教育を通して、論理的に考え、課題解決を図る児童を育成する授業研究
- すべての児童が学びやすいユニバーサルデザインの授業改善

基礎・基本の定着

- 授業、宿題、放課後学習による計算力や漢字の読み書き等の基礎・基本の定着
- 診断シートによる学習状況の把握と到達目標立て
- 『読書旬間』(年3回)の取組と年間30(高学年)・40(中学年)・50(低学年)冊を目標にした読書活動の充実

心身ともに健康な子供の育成



体力づくり・健康教育

- 『ふじみわくわくタイム』による様々な体の使い方の習得
- オリンピック・パラリンピック教育の推進
- アスリートによるスポーツ体験教室
- 保健集会での学校歯科医による「歯の話」

特別支援教育の推進

- 『特別支援教室』による校内での通級指導
- 「学校生活支援シート」と「個別指導計画」の作成
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー及び関係諸機関との連携
- 教員サポーターや学生ボランティアの活用

信頼される学校



安心・安全な学校づくり

- 『富士見しぐさ』や『富士見っ子のきまり』の徹底
- 交通安全教室やセーフティ教室安全マップづくりの実践
- 「学校いじめ防止基本方針」「学校いじめ対策委員会」によるいじめ根絶に向けた取組

地域・保護者との連携

- 学校公開や授業参観、保護者会、個人面談および運動会や音楽会など、年間を通した来校の機会設定
- 学級連絡委員会による保護者の協力活動
- 保護者や地域ボランティアによる読み聞かせ
- 地区班ごとの防犯パトロール
- 青少対や町内会との連携行事



特色ある教育活動



○地域の中の学校づくり

- ~地域は学校、地域は教室、地域は先生~
- 中央公園探検 / まち探検
- 地域施設との交流(浄水場 秋水園 農家 他)
- 多彩なゲストティチャー
(表現活動 スポーツ体験教室 出前授業)
- 日本の伝統文化教育(琴 能 昔遊び)
- 放課後子ども教室 ・土曜子供講座

○異学年との交流

- 『富士見っ子ファミリー』での縦割り班活動
- クラブ活動・委員会活動
- 総合的な学習の時間で取組む「人権・環境・健康」の課題学習『富士晴れプラン』と『キャリア教育』
- 高齢者施設訪問 ・障害者理解のための交流会
- 点字、アイマスク、車椅子体験 ・成長報告会
- 全生園学習(見学、語り部との交流、学習発表)